

小樽市子ども・子育て支援事業計画における地域子ども・子育て支援事業の進捗状況【平成27年度】

10 病児(病後児)保育事業

事業概要	病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業
事業目的 (目指すべき目標)	感染症の発症等により一時的に保育所等を利用できない病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等することにより、就労する保護者等のニーズに対応する。
実施内容 (具体的な実施方法・手段)	市内の小児科医師の人数、財政負担、国の補助額等の課題に対する対応方策や保護者ニーズに対応できる事業の在り方について検討

事業費(円)		平成27年度 予算	平成27年度 決算	平成28年度 予算	平成29年度 予算	平成30年度 予算	平成31年度 予算
	事業費						
	特定 財源						
	国庫支出金						
	道支出金						
	その他						
	一般財源						

活動指標(A) (目的を達成するために実施した事業量を数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 見込み	平成29年度 見込み	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	実施施設数	か所					
	【特記事項】						

成果指標(B) (目的の達成度を測定できる指標を設定し数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 見込み	平成29年度 見込み	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	延利用人数	人					
	【特記事項】						

(A)(B)を考慮した需要量 (指標)の設定及び確保 方策、実績を数値で表示	需要量(指標)	年:延べ利用人数				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	需要量の見込み(人)	300	300	300	300	300
	確保方策(人)	実施体制を検討し、条件整備が完了後、実施を判断する。				
★事業計画策定済み★	実績(人)					

【事業評価】 A:事業目標を達成し、結果が得られた。今後この水準を維持する。 B:事業目標をある程度達成したが、今後の改善・検討を要する。 C:事業目標を達成したとは言えず、現状について大きな課題がある。						
事業実施者による事業評価						
小樽市子ども・子育て会議における事業評価						
<確保方策> 事業計画から抜粋	本市における病児(病後児)事業については、市内の小児科の医師が少ないこと、事業実施施設の整備には相応の財政負担を伴うこと、運営に関する国の補助が低額であることなどが課題となっています。これらの課題に対する対応方策や保護者のニーズに対応できる事業の在り方について引き続き検討します。					

◆平成27年度の事業評価(達成度の評価・成果・課題等)

市内の小児科医が少なく、現在実施する小児科医がいないこと、施設整備に相応の負担を伴うことを勘案し、病児(病後児)保育についてはファミリーサポートセンター事業で対応している。
本事業としての事業の実施は出来ていないが、病児の預かりについてはファミリーサポートセンター事業で対応しており、病児(病後児)保育の一部を担っていることから「C」評価とする。

◆平成28年度の目標(上記の事業評価を踏まえた、対処方法など)

平成27年度に引き続き、病児(病後児)保育をファミリーサポートセンター事業で対応することについて検討するが、平成28年度においてはその具体的実施内容や利用者負担額等についても更に検討を進めていく。また、病児(病後児)保育事業自体の実施の可能性についても引き続き検討する。